



## たし算とひき算(2)

「たし算とひき算のひっ算(2)」の8時間目です。

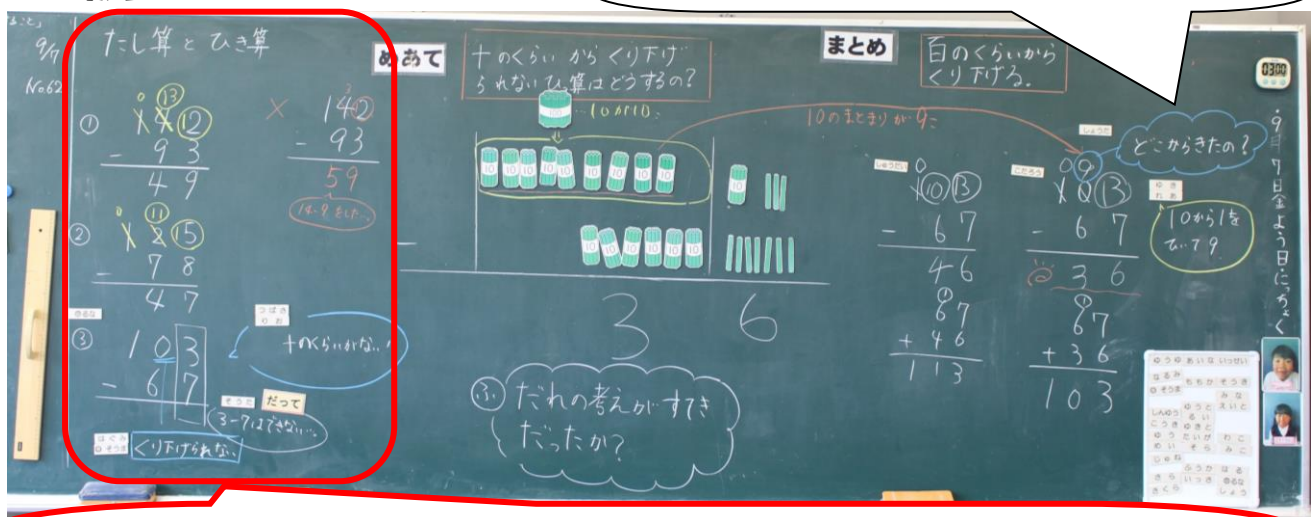
### 1 本時について

本時は、一の位の計算のために、百の位から繰り下げていくという学習内容です。ひき算の学習では、「十の位からの繰り下がり→十の位・百の位からの繰り下がり→本時」という順番で学習が行われてきました。

一の位から計算したときに、十の位が0だから、繰り下げられないというところが子どもにとって、難しいところです。

ある子の「どこから9がきたんだろう？」という発言をもとに、話し合いを進めました。

### 2 板書



最近の導入は、前時の練習問題→本時の課題にしています。だいたいの場合、「え?」「できない…」と反応があるので、困ったところ・難しいところを、聴くようにしています。

### 3 ふり返り

本時は、自力解決時に、数え棒を黑板中央に貼りましたが、授業の展開は「筆算→数え棒」となりました。「9の説明」のためには、数え棒が有効でした。子どもが数え棒を操作しながら、9について説明すると、納得した子が多かったようでした。ただ、適用題が出来なかったのは、課題かもしれません。ふり返りでは、「最初の誤答が手がかりになった。」「どこから9がきたの?と私も思った。」などありました。子どもの考えをどの順番で出すか、また、どんな子どもの疑問をいつ取り上げるかがとても重要だと改めて感じました。